

釧路市立清明小学校

清明小スタンダード

～清明小学校そろえる指導～

(2022版)

《 清明小スタンダード 》

- 1 生活のきまり（児童向け）
- 2 学習のきまり（児童向け）
- 3 授業改善のための確認事項（教師向け）
- 4 家庭での望ましい過ごし方（家庭向け）

1 生活のきまり(児童向け)

※ 表内の[掲載]は児童や保護者への周知の手段・方法です。記号の意味は以下の通りです

配：「指導の管轄」担当の分掌が印刷物を作成し，児童，保護者に配布し周知・啓発を図る
掲：「指導の管轄」担当の分掌が掲示物を作成し，校内掲示を行い全校児童に周知・徹底する
担：主に各学級で担任(または他の教師)が適切に指導する
児：児童委員会(生活委員会等)の活動の中で啓発を図ることが考えられる項目

	項目	内容	職	指導の管轄																	
校内生活を守る	○登校	・8時15分までに登校しましょう。	○	■生活部 ■保体部 ←○の項目は，経営計画にも掲載すること																	
	○休憩・休み時間	・教室の移動やトイレは授業開始に間に合うように行きましょう。	○																		
	○下校	・用事がない人は，いつまでも残らないようにしましょう。 ・総退校の時刻になったら，学校には入れません。 ※やむを得ない場合を除き，忘れ物を取りに来る，トイレを借りる等は基本的にしないことをあらかじめ指導する。	○担																		
校内の過ごし方	○あいさつ・礼儀	・自分から進んであいさつをしよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 《キャッチフレーズ》 ・朝はみんなに「おはようございます」 ・昼はお客さん，先生方に「こんにちは」 ・帰りはみんなに「さようなら」 </div> ・時と場に合った言葉遣いや行動をしよう。 ・元気に生活しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 《キャッチフレーズ》 笑顔いっぱい 明るい清明の子 </div>	○掲 担 担 掲	■生活部																	
	○教室	・登校したら，勉強道具を机の中に入れるなど，朝の準備をしましょう。 ・身の回りのものをきちんと片付けましょう。 ・係や当番など自分の役割には責任を持って，みんなと協力して取り組みましょう。 ・教室では，落ち着いて過ごしましょう。 ・下校するときは忘れ物をしないようにしましょう。	○ ○担 ○ ○	■生活部 学習関係は教務も連携																	
	○グラウンド	・グラウンドを使える日は，できるだけ外に出て元気に遊びましょう。 ・雨が降っている日，グラウンドに水たまりがある日はグラウンドは使えません。 ・遊具がぬれていたり，まわりに水たまりがある場合，遊具では遊べません。 ・グラウンドや遊具は，休み時間などにみんなが一斉に使います。お互いにゆずりあいながら楽しく遊びましょう。 ・休み時間中にグラウンドで使ってよい道具は，学級に配られるボールと長縄，自分のとび縄だけです。他の道具は危険防止のため持ち込めません。 ・児童玄関前のほそう部分は学校の竹馬で遊べます。ボールでは遊べません。	○掲 ○担 ○ ○	■生活部 体力向上は保体部																	
	○体育館	・体育館遊びは，休み時間使用の割り当てに合わせて使用しましょう。(昼休みは掃除が終わってから) 《体育館割り当て》 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <tr> <td>学年</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> </tr> <tr> <td>中休み</td> <td>中学年</td> <td>低学年</td> <td>高学年</td> <td>低学年</td> <td>高学年</td> </tr> <tr> <td>昼休み</td> <td>高学年</td> <td>中学年</td> <td>低学年</td> <td>中学年</td> <td>低学年</td> </tr> </table> ・体育館器具庫に入ったり，ステージに上がって遊んではいけません。	学年	月	火	水	木	金	中休み	中学年	低学年	高学年	低学年	高学年	昼休み	高学年	中学年	低学年	中学年	低学年	○ 掲 担
学年	月	火	水	木	金																
中休み	中学年	低学年	高学年	低学年	高学年																
昼休み	高学年	中学年	低学年	中学年	低学年																

○スケートリンク	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間、リンクが使用できるときは、休み時間に遊ぶことができます。 ※休み時間のリンク使用については、中休みは2・3時間目に割り当てられている学年、昼休みは5時間目に割り当てられている学年が使用できます。 また、休み時間中の指導は、使用学年で行います。 	担	◇保体部																
○廊下 ・教室移動	<ul style="list-style-type: none"> ろうかは、右側を歩き、走らないようにしましょう。 授業で教室を移動するときは、静かに整列し、歩きましょう 授業終了のチャイムが鳴ってから移動しましょう。 	○ ○ 児	■生活部 ■教務																
○特別教室	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室を利用する時は、学習に関係がある時だけ利用し、用事のない時は入らないようにしましょう。 休み時間等に使用する場合は担当の先生に許可をもらいましょう。 みんなが使うものは大切に使いましょう。 	○ 担	■生活部 ■教務																
○玄関ロビー	<ul style="list-style-type: none"> 玄関ロビーは、走らないようにしましょう。 玄関の戸はこまめに閉めましょう。 靴はそろえて下駄箱に入れましょう。 	児 担	■生活部																
○職員室	<ul style="list-style-type: none"> 入る前に、身なりを整えて、用件を確認します。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> かばんを下ろす 上着を脱ぐ 帽子を取る </td> </tr> <tr> <td>※入り口前にまとめておきます</td> </tr> <tr> <td>①ドアを開けて「失礼します」</td> </tr> <tr> <td>②入り口のところで「〇年〇組の〇〇です」「(用件)で来ました」</td> </tr> <tr> <td>③用事のある先生、場所へ行き、用件を済ませる</td> </tr> <tr> <td>④入り口の前で立ち止まって「失礼しました」</td> </tr> <tr> <td>《こんなことにも気をつけて》</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 朝は、「おはようございます」も言いましょう。 誰に聞いたらよいかわからないときは、近くの先生(事務職員さんや教頭先生など)に伝えます。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> かばんを下ろす 上着を脱ぐ 帽子を取る 	※入り口前にまとめておきます	①ドアを開けて「失礼します」	②入り口のところで「〇年〇組の〇〇です」「(用件)で来ました」	③用事のある先生、場所へ行き、用件を済ませる	④入り口の前で立ち止まって「失礼しました」	《こんなことにも気をつけて》	<ul style="list-style-type: none"> 朝は、「おはようございます」も言いましょう。 誰に聞いたらよいかわからないときは、近くの先生(事務職員さんや教頭先生など)に伝えます。 	担 掲 担 掲	■生活部(+主幹)								
<ul style="list-style-type: none"> かばんを下ろす 上着を脱ぐ 帽子を取る 																			
※入り口前にまとめておきます																			
①ドアを開けて「失礼します」																			
②入り口のところで「〇年〇組の〇〇です」「(用件)で来ました」																			
③用事のある先生、場所へ行き、用件を済ませる																			
④入り口の前で立ち止まって「失礼しました」																			
《こんなことにも気をつけて》																			
<ul style="list-style-type: none"> 朝は、「おはようございます」も言いましょう。 誰に聞いたらよいかわからないときは、近くの先生(事務職員さんや教頭先生など)に伝えます。 																			
○給食	<ul style="list-style-type: none"> 給食の目標を意識して、すききらいせず、しっかり食べましょう。 <p>《給食の片付け方》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>処理の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛乳パック</td> <td>ストローは挿したまま、平たく潰してビニール袋に入れる。 (飲み残しは温食缶にあげてから袋へ入れる。)</td> </tr> <tr> <td>ストローと袋</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>デザートのカップ</td> <td>カップは重ねてから袋へ、それ以外の物は袋へ入れる。</td> </tr> <tr> <td>パンの残り</td> <td>挟みものなどない残りのパンや手つかずのものだけは袋に入れて、パン箱へ。それ以外は温食缶へ</td> </tr> <tr> <td>ご飯の残り</td> <td>ご飯の箱に戻す。 *皿についたご飯粒もきれいに取ってください。 他のおかずと混ざっている場合は温食缶へ。</td> </tr> <tr> <td>おかずの残り</td> <td>おかずのバットに戻す。</td> </tr> <tr> <td>その他の残り</td> <td>すべて温食缶へ。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	処理の方法	牛乳パック	ストローは挿したまま、平たく潰してビニール袋に入れる。 (飲み残しは温食缶にあげてから袋へ入れる。)	ストローと袋	同上	デザートのカップ	カップは重ねてから袋へ、それ以外の物は袋へ入れる。	パンの残り	挟みものなどない残りのパンや手つかずのものだけは袋に入れて、パン箱へ。それ以外は温食缶へ	ご飯の残り	ご飯の箱に戻す。 *皿についたご飯粒もきれいに取ってください。 他のおかずと混ざっている場合は温食缶へ。	おかずの残り	おかずのバットに戻す。	その他の残り	すべて温食缶へ。	掲	◇保体部 ・給食の目標を毎月学級に提示する ・掲示物は保体部が作成
項目	処理の方法																		
牛乳パック	ストローは挿したまま、平たく潰してビニール袋に入れる。 (飲み残しは温食缶にあげてから袋へ入れる。)																		
ストローと袋	同上																		
デザートのカップ	カップは重ねてから袋へ、それ以外の物は袋へ入れる。																		
パンの残り	挟みものなどない残りのパンや手つかずのものだけは袋に入れて、パン箱へ。それ以外は温食缶へ																		
ご飯の残り	ご飯の箱に戻す。 *皿についたご飯粒もきれいに取ってください。 他のおかずと混ざっている場合は温食缶へ。																		
おかずの残り	おかずのバットに戻す。																		
その他の残り	すべて温食缶へ。																		
○掃除	<ul style="list-style-type: none"> きちんと掃除し、きれいな学校に努めましょう。 正しい掃除の手順や用具の使い方を覚えて、丁寧に掃除しましょう。 整理整頓や後片付けもしっかりと行いましょう。 ※水・木曜時程の日は、教室の簡単清掃 	担	保体部																
○図書スペースの利用	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で話したり、さわいだり、遊んだりするところではありません。 本棚に足をかけないでください。 本は、座って読みましょう。 読み終わった本は元の場所に戻しましょう。 	掲	●教務部 文化 具体的な貸し出し																

	○給食エプロン	<ul style="list-style-type: none"> 給食のときは、バンダナ、エプロンを着けましょう。 エプロン、バンダナは巾着袋に入れて汚れないようにしましょう。 週末に家で洗濯してきれいなものを使用しましょう。 	担担担	◇保体部													
	○集金袋	<ul style="list-style-type: none"> 学校で集めるお金を持ってきたときは、朝、先生が教室に来たら忘れずにすぐに渡しましょう。 	担	◎教務部													
	○記名	<ul style="list-style-type: none"> 学校に持ってくるものには、必ず名前を書いておきましょう。 持ち物をなくしたら、よく探してみましよう。落とし物コーナーも確認しましょう。 	○担	■生活部													
	○児童用保護マット	<ul style="list-style-type: none"> 天板表面の保護のため、保護マットを敷きます。 (H26～H28年度入学児童は個人持ち購入。それ以降は公費負担) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>使用上の留意点(指導上の押さえ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 不用意な紙挟みとして使用しない 学習上、印刷物等をマットとの間に挟むことが有効・効果的なときは、目的や挟み方、必要な期間を十分に考慮の上、指導し活用する(例)九九表、あいうえお表(拗音)、ローマ字… </div>	担	◎教務部 (+主幹) ※個人持ちは幹旋可													
	○遊び道具	<ul style="list-style-type: none"> 通年を通して休み時間に教室で遊んでよい道具を次の通りとします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自由帳・塗り絵・折り紙・将棋・オセロ・トランプ・カルタ・ウノ・あやとり・百人一首・ジェンガ・お手玉・剣玉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> このほかに持ってきていいかどうかわからないものは、先生に相談して、学校で確認をとってから決定します。 	担担	■生活部 ※時期が来たら生活部から周知させる													
	○その他	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間のカイロは次の範囲内で持ってきてよいこととします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 授業中は取り出さない(握る、机の上に出すなど) 記名する 体に貼り付けたもの以外は外れないようにする </div> <ul style="list-style-type: none"> 学習に関係のないものは持ってこない。 	担	■生活部													
校外生活	時間を守ろう	<ul style="list-style-type: none"> 朝は遅刻しないように心掛けましょう。 学校から帰るときは、寄り道せずに帰りましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>下校先の変更や早退の連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 下校先の変更があるときは、おうちの人(保護者)が朝、担任の先生に知らせるようにします。自分でも言えるようにします。 早退の場合は、必ずおうちの人(保護者)が学校へ迎えに来てもらうようにします。 下校先の変更があいまいなときは、学校からおうちの人(保護者)に確認の電話をします。 </div>	担担配	■生活部 校外生活全般について「生活部だより」で保護者へ周知する													
	○帰宅時刻	<ul style="list-style-type: none"> 帰宅時刻を守りましょう。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>帰宅時刻</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td> <td>午後 5 時</td> </tr> <tr> <td>5 月～8 月</td> <td>午後 6 時</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td>午後 5 時30分</td> </tr> <tr> <td>1 0 月</td> <td>午後 5 時</td> </tr> <tr> <td>1 1 月～1 月</td> <td>午後 4 時</td> </tr> <tr> <td>2 月～3 月</td> <td>午後 4 時30分</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	帰宅時刻	4 月	午後 5 時	5 月～8 月	午後 6 時	9 月	午後 5 時30分	1 0 月	午後 5 時	1 1 月～1 月	午後 4 時	2 月～3 月	午後 4 時30分	○
期 間	帰宅時刻																
4 月	午後 5 時																
5 月～8 月	午後 6 時																
9 月	午後 5 時30分																
1 0 月	午後 5 時																
1 1 月～1 月	午後 4 時																
2 月～3 月	午後 4 時30分																

校区と交通ルール	○通学 ○交通ルール	<ul style="list-style-type: none"> 通学路を守りましょう。 交通ルールをしっかり守りましょう。 安全指導の方や地域の方に、元気にあいさつしましょう。 道路への飛び出しはぜったいにはいけません。 横断歩道をわたりましょう。 青信号になったら左右の確認をしてから横断しましょう。 他人の敷地内には入らないようにしましょう。近道に使ってもいけません。 雨降りの日は、1・2年生は傘は使わず、合羽を着ましょう。 	配 配 担 ○ 担 ○ 配	■生活部
	○校区	<p>《清明小の校区》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【貝塚】 1丁目 2丁目1～16番・23～24番 3丁目 【材木町】 16～17番・19～22番 【緑ヶ岡】 1丁目6～10番 2丁目 3丁目1番111～458号 4丁目 5丁目1～20番 6丁目1～9番</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 校区外に子どもだけで行かないようにしましょう。ただし、【公共施設】については下の項目の通りとします。 子どもだけで行くことはできません。 	○ ○ ○ ○	■生活部
施設	○お店やお金がかかる場所	<ul style="list-style-type: none"> 用事がない時はお店に入らないようにしましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《次の事項を禁止します》</p> <ul style="list-style-type: none"> お金を持って遊びに行くこと。 買い食い(飲食物を買って家以外の場所で食べたり飲んだりすること) </div> <ul style="list-style-type: none"> ゲームセンターや大型のスーパーなどのゲームコーナー(プリントシール機を含む)、映画館は、子どもだけで入ってはいけません。ゲームコーナーなどで遊べるのは、保護者など責任の持てる大人の人が近くにいるときだけです。すぐ近くに大人がいないと、補導の対象になる場合があります。 	○ ○ ○	■生活部
	○公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設を利用する時は、使う目的を考えて、他の人の迷惑にならないようにマナーをしっかりと守りましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《次の事項を禁止・徹底します》</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ歩き(家から食べ物を持ち出して施設などで食べること) 自分の持ち物から出たゴミは自分の家に持ち帰ること(捨てない) </div> <ul style="list-style-type: none"> 次の公共施設は校区外ですが、保護者の方に許可をもらった場合は、4～6年生は子ども同士で行くことができます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>バスを利用して行くことができる校区外の公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館 ・ 博物館 ・ 鳥取温水プール ・ まなぼっと くしろ芸術館 ・ 遊学館 <p>※寄り道せず、迷子にならないように気をつけましょう。</p> </div>	○ ○ ○ ○	■生活部
安全に過ごすために	○外出するとき	<ul style="list-style-type: none"> 外出するときは、「行き先」「一緒に行く人」「帰る時刻」を家の人に言うてから出かけましょう。 外遊びはなるべく一人ではなく、友達と行動しましょう。 なるべく人通りが多いところを通りましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>知らない人に声をかけられたり、連れて行かれそうになったら…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「お菓子をあげる」「車に乗せてあげる」などのさそいには絶対にのらない。 ○無理やり嫌なことをされそうになったら大声で近くのおうちやお店の人に助けを求める。 ○変だなと思ったら、すぐに逃げる。 ○家に帰ったら、必ずお家の人に話して、警察に連絡してもらおう。 <p>『いかのおすし』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いか …いかない(知らない人についていかない) ●の …のらない(知らない人の車に乗らない) ●お …おおきな声で呼ぶ </div>	○ ○ 担 ○ 掲	■生活部

		<ul style="list-style-type: none"> ●す …すぐ逃げる ●し …しらせる (何かあったらすぐ知らせる) 		
	○放課後や休日に遊ぶとき	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や大人のいない家には、その家の大人の許可なく上がったり、まねき入れたりしてはいけません。 ・自分の持ち物を大切に、トラブルにならないよう、友達とものの交換は控えましょう。交換したいときはお互いの家の人に確認してからにします。 	○担	■生活部
	○学級・学年閉鎖や臨時休校のとき	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・学級閉鎖や臨時休校のときは、安全上の理由から学校に来ることができない日なので、学校からの連絡にしたがい、お家で過ごすようにします。 	配	■生活部 臨時休業フ ォリットに掲 載
	○自転車	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故にあわないように自転車に乗るときは、次のことに気をつけましよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自転車の乗り方で気をつけること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の二人乗りや手ばなし運転など、危険な乗り方をしない。 ・交差点や見通しの悪いところでは一旦止まって安全を確認しましよう。 ・横断歩道では、自転車から降りて渡りましよう。 </div>	○	■生活部
	○ローラースケートなど	<ul style="list-style-type: none"> ・一輪車やローラースケート、キックスクーターなどは、舗装か整地された公園などで乗りましよう。(道路では絶対に乗らないようにしましよう。) 	配	■生活部
	○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・魚釣り、お祭りは、必ず責任の持てる大人と一緒にいましよう。 ・花火は、家の人と安全に行いましよう。(子ども達だけではいけません。) 	配配	■生活部
長期休業	夏 夏休みのきまり	<p>【おもなきまり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出した時は、午後6時までには家に帰りましよう。 ・6年生のみなさんは、自分の地区のリーダーとなって、低学年のお世話をしましよう。 ・町内会の方の注意をよく聞いて行動し、他の行事にも進んで参加しましよう。 ・ラジオ体操などには積極的に参加しましよう。 	配配配配	■生活部 「夏を楽しく」との関連を図る。詳しいきまりは生活部だより参照
	冬 冬休みのきまり	<p>【おもなきまり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬休み中の帰宅時刻は午後4時です。 ・年末年始は出かける人が多くなります。まいごになったり、事故にまきこまれないように注意して下さい。 	配配	■生活部 「冬を楽しく」との関連を図る。詳しいきまりは生活部だより参照

2 学習のきまり(児童向け)

項 目	児童に示す内容
授業準備	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が始まる前に、学習の準備をしよう。 ・チャイムが鳴る前に自分の席に座ろう。 ◆高学年は前回の学習内容を思い返しておこう。
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めや終わりには、きちんとあいさつしよう。
態度姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・しせいに気をつけて学習に取り組もう。
挙手	<ul style="list-style-type: none"> ・意見があるときは、手を挙げてから発言しよう。
返事	<ul style="list-style-type: none"> ・返事は「はい」と、しっかりとしよう。
知る (聞く)	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くときは、話しをしている人の方に顔や体を向けるようにしよう。 ◆高学年は、耳を傾けてしっかり聞こう。 ・話の内容を整理したり、大切なことに気をつけながら話を聞いたり、本を読んだりしよう。
考える (書く)	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠や理由を大切にしながら、自分なりの考えを持って学習に取り組もう。 ・わからないことはそのままにしないで、先生に質問したり友だちとの対話を通して考えを深めたりして、解決できるようにしよう。
伝える (話す)	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの教科で学習した用語や学習にふさわしい言葉をつかって話そう。 ・声の大きさや速さに気をつけて話そう。 ・話したい内容を整理してから話そう。
まとめる (書く)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書きたい内容を整理してから、ていねいに書こう。 ◆高学年は、話の要点を落とさないように気をつけながら書けるようにしよう。 ・字の形や大きさ、筆順に気をつけて書こう。 ◆高学年は、黒板に書いてあること以外でも、自分が必要な内容はメモをとるようにしよう。

★ 上位目標は「◆高学年は」と前置きして定めた。

4 授業改善のための確認事項（教師向け） 学習規律に関しては、教務提案の別紙を確認すること。

	観点：振り返りの視点(研修)	確認項目《手立て》	月別学習重点との関連
学習環境・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物や机脚等，学習環境の整理整頓について ・授業前の，教科用図書やノート，その他学習用具の準備について 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を整理しているか ・机がまっすぐにそろっているか ・児童用保護マットに不要なプリントを挟めたりしていないか ・教科用図書やノート，筆記用具の配置がそろえられているか <p>《机上の学習用具の配置の活用》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りスッキリ！ ・机の上スッキリ！
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始・終了のあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとあいさつができるようにしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・背筋ピン！ ・返事ははっきり はい！
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習中の姿勢，話し合い，ノートの書き方，発表時のルールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・月別指導重点目標に基づいて指導しているか <p>《月ごとに重点目標を意識する》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・背すじピン！ ・天井指しピン！ ・返事ははっきり はい！ ・（話を聞くときは）うん。うん。（うなずき，相づち） ・マスにきっちり！
授業導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を踏まえた学習課題の設定，提示の仕方の工夫について 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標や課題をわかりやすく示しているか <p>《「問題」の板書：白枠で囲む》</p> <p>《「課題」の提示：赤枠で囲む》</p> <p>（全校統一）</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための見通しの持たせ方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持たせるための手立てを講じているか 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の方法や内容に適した学習形態の工夫について ・多様な考えを引き出したり，思考を深めたりするようにするような発問や指示の工夫について ・個の学習理解の程度に応じた指導，手立ての工夫について 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせた学習形態の工夫をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスにきっちり！ ・天井指しピン！
	<ul style="list-style-type: none"> ・対話や発表を通して，学び合いを深めていく工夫について 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な場面の設定ができているか <p>《対話の場面》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うん，うん。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に即して本時の学習を振り返り，自分で考えたことや気づいたことをわかりやすく表現することについて ・自学につながる振り返りについて ・学習課題と正対した，本時のまとめについて ・目標の実現状況を適切に評価するための方法，場面について 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの場面を確保しているか <p>《何を振り返るのか》</p> <p>《「まとめ」の板書：青枠で囲む》</p> <p>（全校統一）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスにきっちり！
授業全体	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが見える，板書構成の工夫について ・「導入－展開－終末」の時間配分（タイムマネジメント）について 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な板書構成になっているか <p>《板書構成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に即した時間配分になっているか 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の基本となる教科用図書の使い方について ・ICT機器の有効な活用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に使用しているか 	

<p>研修に関わって</p>	<p>・授業づくりのフォーマット</p> <p>I 学習指導要領の指導事項に基づき、身に付けさせたい力を設定する。</p> <p>II 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）と児童の状況をもとに、目標を実現した児童の姿をイメージした単元の評価規準を設定する。</p> <p>III 評価の場面や評価方法を具体化する。また、児童が自らの学びを振り返る場面を設定する。</p> <p>IV 児童の学習状況を評価規準に基づいて見取り、児童が自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう評価結果を伝え、次の学習に活かせるようにする。</p> <p>・フォーマットを活用した評価規準の設定</p> <p>・9つのフレームを活用した授業改善導入</p> <p>I 問題意識を持たせる工夫</p> <p>II 見通しを持たせる工夫</p> <p>III 評価基準にあわせた課題の言葉の精選展開</p> <p>IV 目的を明らかにした交流</p> <p>V 思考を生む中心発問と問い直し</p> <p>VI 資料や板書の効果的な活用</p> <p>VII 子どもの実態に合わせた手立ての工夫</p> <p>終末</p> <p>VIII ねらいにあわせた振り返り</p> <p>IX 変容を感じられる振り返り</p>	<p>・「学習の約束」を活用した児童アンケートの結果のフィードバックを行っているか</p> <p>・少人数グループによる授業公開を行い、授業改善のための協議を行っているか</p> <p>・前期と後期に個人課題を設定しているか</p>	
----------------	---	--	--

5 家庭での望ましい過ごし方(家庭向け)

	項目	内容	備考
家庭生活	挨拶・礼儀	<ul style="list-style-type: none"> ・お家の人にきちんとあいさつしよう。 ・家族の人がしてくれていることに、感謝しよう。 	
家庭生活	役割	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりの時間割を見て忘れ物のないように、自分でよく日の学習準備をしよう。 ・家族の中で自分ができる役割やお手伝いは進んで取り組もう。 	
家庭生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちを持って三食しっかりと食べよう。 ・朝ごはんをきちんと食べて一日のエネルギーを蓄えよう。 ・好き嫌いをしないで、バランスよく食べよう。 	
家庭生活	起床・睡眠	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きを心がけよう。 	
家庭生活	テレビ・ゲーム情報端末機器及びそれらに含まれるソフト、アプリ(ブラウザ、メール、SNS等)	<ul style="list-style-type: none"> ・家の人と話し合っ使用し方や時間を決めよう。 ・インターネットに接続する機器を使用するときには、次のことに注意しましょう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>①よくわからないサイトにはすぐにアクセスしないで、おうちの人に確認してからにしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害情報、課金制度、ワンクリック詐欺などの場合があります ・もし間違っクリックした場合は、あわてずに保護者に相談しましょう。 <p>②自分から情報を発信する場合は、内容を確認してから送信するくせ</p> </div>	←家庭への啓発文書を作成・配布する

		<p>をつけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報＝自分や家族、友達のことがわかる文や写真、動画などは、絶対に送信してはいけません。(一度でも送信するとインターネット上から消すことができません) ・個人情報が自動で送信されないように、最初に機器の設定をしましょう。(保護者と設定を確認してから使い始めましょう) ・「おかしいね」「へんだね」「いやだ」「きもい」など、あいまいな言葉や否定的な言葉は、誤解を生むことがあります。自分の書いた文を読み直してから送信するようにしましょう。 																		
家庭学習	時刻・時間	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻や時間を決めて、毎日取り組もう。 ・時間のめやすは、(学年)×10分+10分を目標にしましょう。 																		
	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して学習に取り組もう。 ・姿勢良く取り組もう。 ・宿題を最初にすませ、その後自分で決めた家庭学習に取り組もう。 ・家庭学習用のノートを用意して、上手に使おう。 ・『家庭学習の手引き』を見ながら自主的・計画的に取り組もう。 <p>《学年ごとの取り組み》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>学習時間など</th> <th>家庭へ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>20分間、しっかりと</td> <td rowspan="2">おうちの人が一緒についてあげてください</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>30分間、落ち着いて</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>40分間、集中して、 *丸付けは自分でしよう</td> <td rowspan="2">おうちの人が同じ時間を静かに過ごしてあげてください</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>50分間、集中して、 *丸付けは自分でしよう</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>60分間、学習の見通しを持って</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>70分間、学習の見通しを持って、自学自習の習慣を</td> </tr> </tbody> </table>	学年	学習時間など	家庭へ	1年	20分間、しっかりと	おうちの人が一緒についてあげてください	2年	30分間、落ち着いて	3年	40分間、集中して、 *丸付けは自分でしよう	おうちの人が同じ時間を静かに過ごしてあげてください	4年	50分間、集中して、 *丸付けは自分でしよう	5年	60分間、学習の見通しを持って		6年	70分間、学習の見通しを持って、自学自習の習慣を
学年	学習時間など	家庭へ																		
1年	20分間、しっかりと	おうちの人が一緒についてあげてください																		
2年	30分間、落ち着いて																			
3年	40分間、集中して、 *丸付けは自分でしよう	おうちの人が同じ時間を静かに過ごしてあげてください																		
4年	50分間、集中して、 *丸付けは自分でしよう																			
5年	60分間、学習の見通しを持って																			
6年	70分間、学習の見通しを持って、自学自習の習慣を																			
保護者へ	「〇〇〇〇」保護者宛説明文	<p>この『〇〇〇〇』は…、</p> <p>本校に在籍するすべての子どもたちに身につけてほしいことや学校のきまりについてまとめたものです。校内での指導内容を統一するとともに、全校児童に配布して、保護者の皆様にも指導内容をご覧いただき、本校の教育活動の一環をご理解いただければと思います。</p> <p>また、家庭での生活に関すること、家庭学習についてもあわせて掲載いたしました。ご一読いただき趣旨をご理解の上、ご家庭でもお子様への声かけ・ご協力をお願いいたします。</p>																		
	留意事項	<p>【徴収金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の納入袋に、おつりのないように期日までに収めてください。 <p>【欠席・総退等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話での連絡を朝8時15分までをお願いします。 ・体調不良等による早退は、原則、保護者が迎えに来てください。 ・連絡手段としての携帯電話等の持参は原則禁止です。ご不明の点は、学校までご連絡ください。 																		